

# 楽天・米国レバレッジ バランス・ファンド 〈愛称：USA360〉

追加型投信/海外/資産複合

## 交付運用報告書

第1期（決算日 2020年8月25日）

（作成対象期間 2019年11月5日～2020年8月25日）

| 当期末   |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 12,929円  |
| 純資産総額 | 5,529百万円 |
| 騰落率   | 29.3%    |
| 分配金合計 | 0円       |

（注）騰落率は分配金（税込）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### 受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、楽天 米国レバレッジ・バランス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に米国の株式および債券に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号  
本資料（交付運用報告書）の記載内容のお問い合わせ先  
TEL：03-6432-7746  
受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで  
※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページアドレスにアクセス

⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択

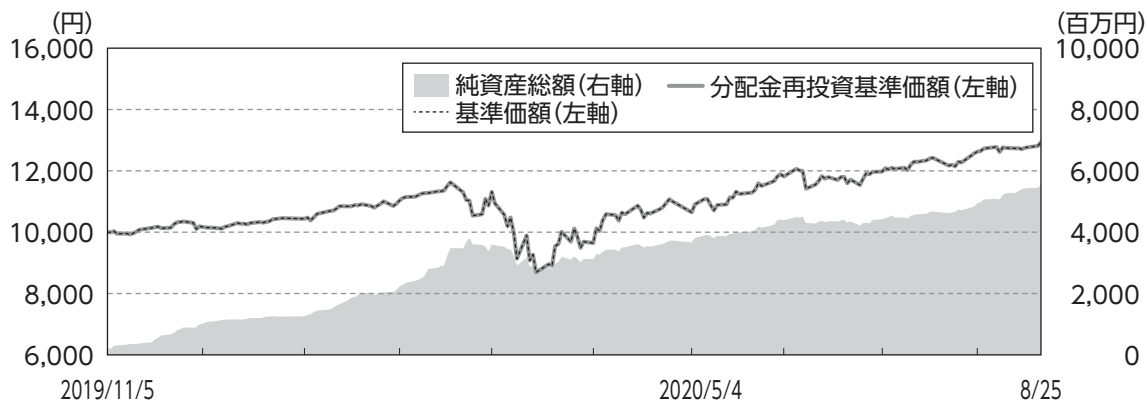
⇒「運用報告書（全体版）」を選択し、閲覧およびダウンロード

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

**Rakuten** 楽天投信投資顧問

## 運用経過の説明

### 1 基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：12,929円(既払分配金0円)

騰落率：29.3%(分配金再投資ベース)

(注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3)分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4)設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

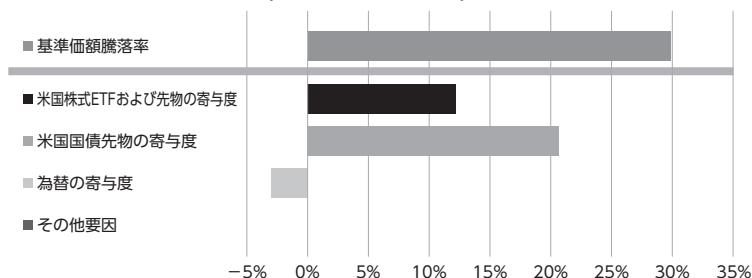
## 2 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主要投資対象である「楽天 米国レバレッジ・バランス・マザーファンド」受益証券（「マザーファンド」）を通じて実質的に投資している米国株式ETF、米国株式先物、ならびに米国国債先物の価格変動の影響を受けます。また、マザーファンドが保有する米ドル資産に対して米ドル/円相場の変動の影響を受けます。

当期の基準価額は上昇しました。投資している米国株式ETF、米国株式先物、ならびに米国国債先物がすべて上昇し、基準価額の上昇要因となりました。一方、米ドルが対円で下落したため、為替要因はマイナス寄与となりました。

米国における新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2020年2月下旬から3月中旬頃にかけて米国株式市場が大きく調整するなかで、当ファンドの基準価額も一時的に設定日を下回る水準まで下落したものの、その後の米国株式市場の反発に加え米国国債先物が堅調に推移したことから、基準価額は設定日を大きく上回る水準で期末を迎えました。

基準価額(マザーファンド)の要因分析



※ETFの寄与度には、税引前配当金を含みます。

※その他要因には、費用等を含みます。

※上記要因分析は、楽天・米国レバレッジバランス・ファンドの基準価額への反映を考慮した期間により算出しています。

上記「基準価額(マザーファンド)の要因分析」は、基準価額の変動要因の傾向をご理解いただくために楽天投信投資顧問が算出した概算値であり、実際の変動要因を正確に説明するものではありません。

### 3 1万口当たりの費用明細

| 項 目  | 当期                            |   | 項 目 の 概 要   |
|--|-------------------------------|---|---|
|  | 2019年11月5日～2020年8月25日         |   |   |
|  | 金額                            | 比率  |   |
| (a) 信託報酬<br>(投信会社)<br>(販売会社)<br>(受託会社)           | 41円<br>(20)<br>(20)<br>(2)    | 0.377%<br>(0.177)<br>(0.177)<br>(0.022)           | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>※期中の平均基準価額は11,010円です。<br>・委託した資金の運用の対価<br><br>・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、<br>口座内でのファンドの管理等の対価<br>・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価  |
| (b) 売買委託手数料<br>(投資信託証券)<br>(先物・オプション)            | 16<br>(7)<br>(10)             | 0.150<br>(0.060)<br>(0.090)                       | (b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料  |
| (c) 有価証券取引税<br>(投資信託証券)                          | 0<br>(0)                      | 0.001<br>(0.001)                                  | (c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金   |
| (d) その他費用<br>(保管費用)<br>(監査費用)<br>(印刷費用)<br>(その他) | 9<br>(1)<br>(0)<br>(2)<br>(6) | 0.083<br>(0.006)<br>(0.004)<br>(0.017)<br>(0.056) | (d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$<br>・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用<br>・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用<br>・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用<br>・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運用にかかる費用等 |
| 合 計  | 66                            | 0.611   |   |

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

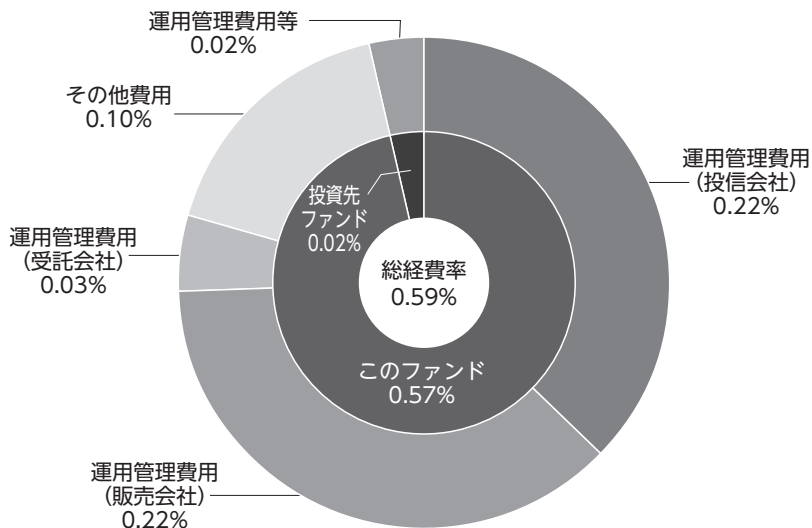
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.59%です。



|                     |       |
|---------------------|-------|
| 総経費率 (①+②)          | 0.59% |
| ①このファンドの費用の比率       | 0.57% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用等の比率 | 0.02% |

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

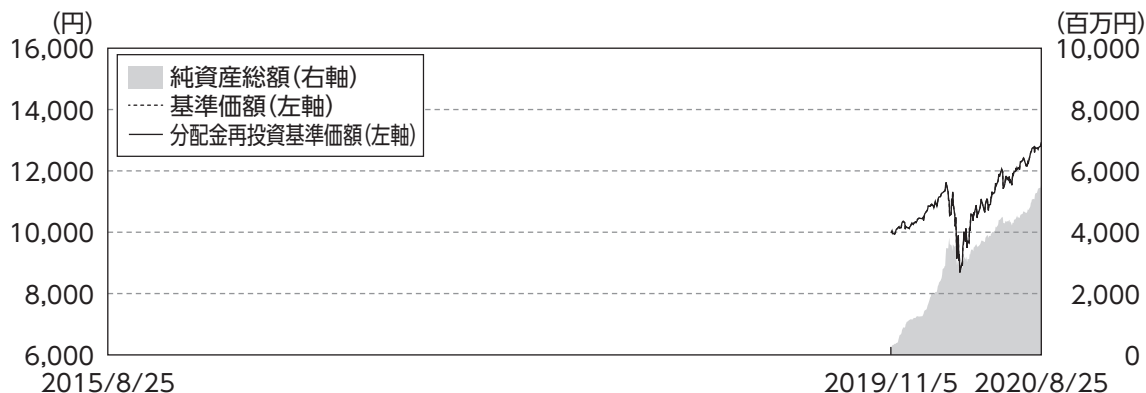
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

#### 4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年8月25日～2020年8月25日)



|                   | 2019年11月5日<br>設定日 | 2020年8月25日<br>決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)          | 10,000            | 12,929            |
| 期間分配金合計(税込) (円)   | —                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                 | 29.3              |
| 純資産総額 (百万円)       | 206               | 5,529             |

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

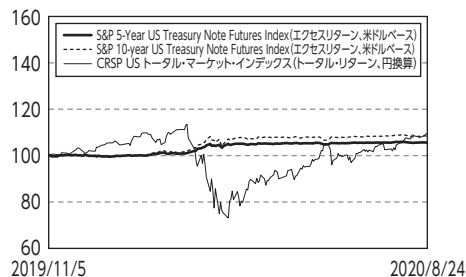
(注4) 分配金再投資基準価額は、2019年11月5日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

## 5 投資環境

当期の米国株式市場は、米中貿易協議における第一段階の合意を受けた不透明感の後退などを背景に2020年2月中旬頃までは堅調な展開となりましたが、米欧など中国以外での新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界的な景気後退懸念が高まると、3月中旬頃にかけて大幅に下落する展開となりました。また、OPEC(石油輸出国機構)とロシアなどの主要産油国の間での協調減産協議が難航したことや、景気減速に伴う需要減への懸念から原油価格が急落したことも株式市場の下落に拍車をかけるかたちとなり、主要3指数は軒並み高値からの下落率が30%を超える大きな調整となりました。しかし、FRB(米連邦準備制度理事会)や政府による政策対応が迅速かつ大規模であったことに加え、4月以降は新型コロナウイルスの感染ペースに減速の兆しが見られたことや、全米各州で段階的に経済活動を再開する動きが広がったことが好感され、3月下旬から5月にかけては下げ幅を急速に縮小する展開となりました。6月以降、複数の州で新型コロナウイルス感染の再拡大が見られ、足元の景気回復の持続性について懸念が広がり、株価の上昇ペースは一旦減速したものの、経済指標の改善やワクチン開発への期待などから7月には持ち直し、期末まで良好な推移が続きました。米国株式の代表的指数であるS&P500指数は、8月中旬には2月中旬以来約半年ぶりに史上最高値を更新しました。セクター別では、今回の新型コロナウイルス感染拡大を受けて新しい生活様式への移行が予想されるなか、その恩恵を受けると考えられるテクノロジー関連セクターが大きく上昇した一方、2月から4月にかけての原油価格の急落を背景にエネルギー・セクターは大きく下落しました。

当期の米国国債市場では、期前半を中心に長期金利が大きく低下(債券価格は上昇)しました。米国国債市場では、中国で発生した新型コロナウイルスへの警戒感やFRBによる金融緩和政策が継続されるとの見通しから、2020年1月後半頃から長期金利は低下基調となりました。さらに2月後半以降は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴うグローバルな景気後退懸念と株式市場の大幅な調整に加え、FRBによる大規模な金融緩和政策を受けて長期金利には一段と下押し圧力がかかり、3月には1%を下回る水準まで低下しました。しかし、3月中旬には、新型コロナウイルス感染拡大の収束やワクチンや治療薬の開発に対する見通しが立たず、投資家のリスク回避姿勢が極端に高まるなかで、



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

価格変動のある資産から資金を引き揚げる動きが急拡大し、国債を含む安全資産にまで現金化を目的とする売却が見られたことから、長期金利は史上最低水準の0.3%台から1.3%まで急激に上昇するなど非常に不安定な推移となりました。3月下旬以降は、こうした市場の混乱を受けてFRBが積極的な政策対応を相次いで打ち出したことなどから金利市場の混乱は収束に向かい、FRBの超緩和政策が相当程度の期間継続されるという見通しの下、長期金利は期末まで概ね0.6%~0.8%の範囲で安定的に推移しました。

米ドル/円相場は、期初(設定時)対比で米ドル安/円高が進みました。期初から2020年2月中旬までは揉み合う推移が続き、米国の主要株価指数が史上最高値更新を続けた2月下旬にかけては一時1米ドル=112円台まで円安が進みました。2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気後退懸念が高まりましたが、当初、安全通貨として円が買われる展開となったことから、3月上旬には一時1米ドル=101円台まで円高が進行しました。しかし、その後は、投資家心理が一段と悪化し、流動性を確保する動きが強まるなか、決済通貨としての需要から一転して米ドルが買い戻されたことから、3月下旬には一時1米ドル=111円台まで米ドルが急反発するなど、2月下旬から3月にかけては極めて不安定な動きとなりました。4月以降は、各国中央銀行の積極的な流動性供給を受けて米ドルの需給逼迫が緩和されことに加え、経済活動正常化への期待とともに市場の過度なリスク回避姿勢が後退したことなどから、米ドル/円相場は落ち着きを取り戻すかたちとなりました。6月上旬には、予想を上回る米雇用統計の改善などを受けて米ドル高/円安方向に、7月後半には米長期金利の低下等を材料に米ドル安/円高方向に、それぞれ振れる局面がありました。いずれも一時的な動きに留まり、4月以降の米ドル/円相場は、概ね1米ドル=106円~108円の範囲で、まとまった方向感に乏しい推移となりました。

## 6 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行っています。

マザーファンドは先物取引を活用して、実質的にファンドの純資産総額の360%(3.6倍)相当額を米国株式と米国債券に分散投資する運用を行います。運用にあたっては、純資産総額の90%程度を米国株式に配分するとともに、先物取引を活用することで、純資産総額の270%程度を米国債券へ投資する運用を行います。

米国株式への投資は主に代表的な株価指数に連動する上場投資信託証券(ETF)を通じて行います(米国株式への投資は、上場投資信託証券に加えて、株価指数先物取引を活用することがあります)。また、米国債券への投資は米国国債先物取引を活用します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当期は、概ね目標配分(米国株式90%、米国国債先物270%)に沿った組み入れを維持しました。なお、手元流動性の確保と円滑なポートフォリオ運営等を目的に、2020年3月下旬より米国株式への投資の一部を先物へ振り分けています。

## 7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



## 8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

| 項 目           | 第1期                   |  |
|---------------|-----------------------|--|
|               | 2019年11月5日~2020年8月25日 |  |
| 当期分配金 (円)     | —                     |  |
| (対基準価額比率) (%) | (—)                   |  |
| 当期の収益 (円)     | —                     |  |
| 当期の収益以外 (円)   | —                     |  |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 2,929                 |  |

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

引き続きマザーファンドを通じて、目標配分(米国株式90%、米国国債先物270%)に沿った組入比率を高位に維持していく方針です。

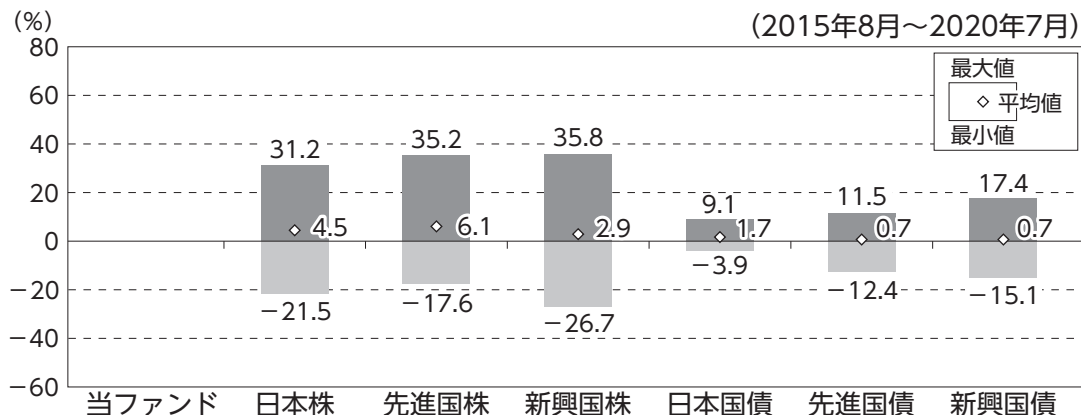
## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／海外／資産複合  |  |
| 信 託 期 間 | 無期限(2019年11月5日設定)  |  |
| 運 用 方 針 | 投資信託財産の成長を目指して運用を行います。   |  |
| 主要投資対象  | 楽天・米国レバレッジ・ファン   | 楽天 米国レバレッジ・バランス・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。                     |
|         | マザーファンド  | 米国の株価指数に連動する上場投資信託証券および米国の株価指数先物取引ならびに国債先物取引の活用を通じて、実質的に米国の株式および債券を主要投資対象とします。 |
| 運 用 方 法 | <p>①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に上場投資信託証券、株価指数先物取引にかかる権利および国債先物取引にかかる権利に投資することで、実質的に米国の株式および債券に投資し、投資信託財産の成長を目指します。</p> <p>②マザーファンドの運用にあたって、原則として、米国の株式および債券の実質的な組入比率は、米国の株式90%程度、米国の債券270%程度とすることを基本とします。</p> <p>③マザーファンド受益証券への投資割合は、原則として高位を維持します。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> |  |
| 分 配 方 針 | <p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>  |  |

## ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドは、設定日から基準日まで1年経過していないため、年間騰落率は記載していません。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス (円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債 (日本除く) インデックス (円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債 インデックス (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

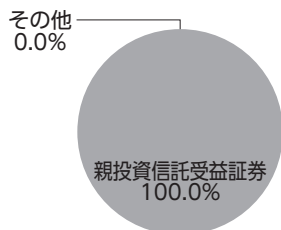
## 当ファンドのデータ

### 1 当ファンドの組入資産の内容

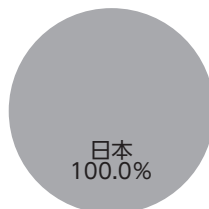
#### ■組入ファンド

|                         | 当期末    |
|-------------------------|--------|
| 楽天 米国レバレッジ・バランス・マザーファンド | 100.0% |
| その他                     | 0.0%   |
| 組入ファンド数                 | 1      |

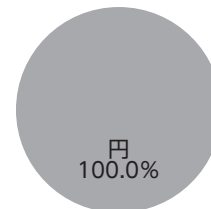
#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

### 2 純資産等

| 項 目         | 第1期末           |
|-------------|----------------|
|             | 2020年8月25日     |
| 純 資 産 総 額   | 5,529,424,974円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 4,276,697,252口 |
| 1万口当たり基準価額  | 12,929円        |

※期中における追加設定元本額は8,333,343,538円、同解約元本額は4,263,528,398円です。

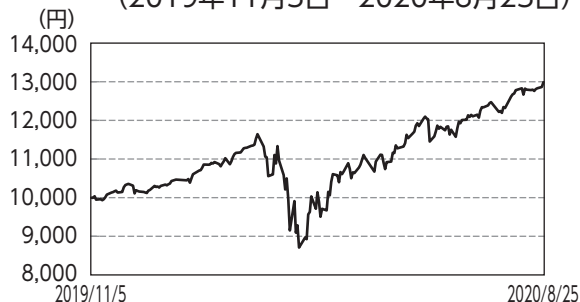
### 3 組入ファンドの概要

#### 楽天 米国レバレッジ・バランス・マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

#### ■基準価額の推移

(2019年11月5日～2020年8月25日)



(注)設定日の基準価額には当初設定元本を用いています。

#### ■1万口当たりの費用明細

(2019年11月5日～2020年8月25日)

| 項目                                    | 当期                 |                              |
|---------------------------------------|--------------------|------------------------------|
|                                       | 金額                 | 比率                           |
| (a) 売買委託手数料<br>(投資信託証券)<br>(先物・オプション) | 17円<br>(7)<br>(10) | 0.150%<br>(0.060)<br>(0.090) |
| (b) 有価証券取引税<br>(投資信託証券)               | 0<br>(0)           | 0.001<br>(0.001)             |
| (c) その他費用<br>(保管費用)<br>(その他)          | 1<br>(1)<br>(0)    | 0.006<br>(0.006)<br>(0.000)  |
| 合計                                    | 18                 | 0.157                        |

期中の平均基準価額は11,033円です。

(注)費用項目については3ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

#### ■組入上位10銘柄

##### 現物資産上位10銘柄

|       | 銘柄名                                  | 業種/種別等 | 通貨  | 国(地域) | 比率    |
|-------|--------------------------------------|--------|-----|-------|-------|
| 1     | バカド <sup>®</sup> ・トータル・ストック・マーケットETF | 投資信託証券 | 米ドル | アメリカ  | 75.7% |
| 2     | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 3     | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 4     | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 5     | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 6     | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 7     | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 8     | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 9     | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 10    | —                                    | —      | —   | —     | —     |
| 組入銘柄数 |                                      |        | 1銘柄 |       |       |

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、

(2020年8月25日現在)

##### 派生商品上位10銘柄

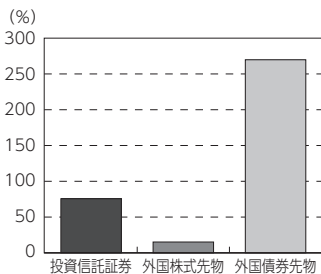
|       | 銘柄名          | 業種/種別等   | 通貨  | 国(地域) | 比率     |
|-------|--------------|----------|-----|-------|--------|
| 1     | US 10YR NOTE | 債券先物(買建) | 米ドル | アメリカ  | 134.8% |
| 2     | US 5YR NOTE  | 債券先物(買建) | 米ドル | アメリカ  | 134.8% |
| 3     | S&P 500 EMIN | 株式先物(買建) | 米ドル | アメリカ  | 15.1%  |
| 4     | —            | —        | —   | —     | —      |
| 5     | —            | —        | —   | —     | —      |
| 6     | —            | —        | —   | —     | —      |
| 7     | —            | —        | —   | —     | —      |
| 8     | —            | —        | —   | —     | —      |
| 9     | —            | —        | —   | —     | —      |
| 10    | —            | —        | —   | —     | —      |
| 組入銘柄数 |              |          | 3銘柄 |       |        |

株式先物および債券先物は実質エクスポージャーを基に計

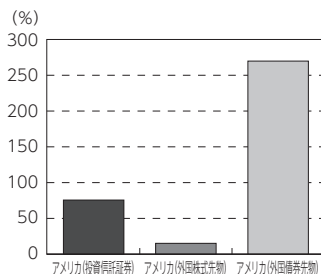
### 3 組入ファンドの概要

#### 楽天 米国レバレッジ・バランス・マザーファンド

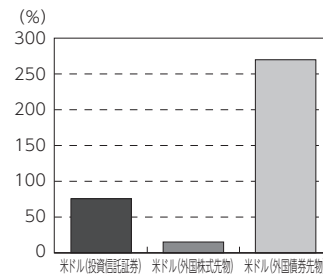
##### ■資産別配分



##### ■国別配分



##### ■通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、株式先物および債券先物は実質エクスポージャーを基に計算しています。

(注2) 国別配分につきましては発行国を表示しております。